TOKAI UNIVERSITY

＜活動報告書＞

Tokai Formula Club

2010年度参戦プロジェクト

2010　June

目次

1. まえがき P. 3
2. 活動経過（6月） P. 4
3. 活動状況（シャシ部門） P. 5
4. 活動状況（エンジン部門） P. 6
5. 今後の予定（7月） P. 7
6. スポンサー様一覧 P. 8
7. 活動場所 P. 9

1. まえがき

暑さが日一日ときびしくなりました．貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます．平素は格別のご高配を賜り，厚くお礼申し上げます． この度はTokai Formula Clubの6月の活動報告と7月の予定につきまして報告させていただきます．また，ご報告が遅くなり，大変申し訳ございません．

6月は，安全構造同等性フォーム，インパクトアッテネータ，デザインスペックシート，デザインレポート，コストレポートと静的審査関連の提出が数多くありました．昨年度の反省を生かし，前もって準備しておくことにより，全て無事に期限前に提出することができました．

また，６月の後半からは車両の熟成を目的にテスト走行を繰り返し行っております．多くのスポンサー様のご支援の下，安全かつ順調に作業は進んでおります．本当に有難うございます．これからもご支援，ご鞭撻宜しくお願いいたします．

大井松田カートランドでの走行テスト

2. 活動経過

デザイン・スペックシート提出

#007　東海大学　デザインレポート

デザインレポートは車両の設計の特徴はもちろんのこと，車両の絶対値や相対値などの数値を多く記載しました．このことにより，非常にわかり易いデザインレポートになったと思います．また，早めに取り込んだことにより，余裕をもって提出することができました．

コストレポート提出

コストの圧縮のためにレギュレーションをもう一度見直し，解釈をチーム全員で議論しながら進めました．また，昨年度の提出遅延という反省を生かし，今年は早めに作成を始めました．しかし，部品の個数やコストテーブルに当てはめる作業は膨大な量で，徹夜を繰り返しながら，ようやく期限直前に無事提出することができました．チーム全員が一丸となって作業できたことで，無事に提出できたと思います．

車両の全ばらし

フレームの塗装と車両パーツの各部チェックのため，車両の全ばらしを行いました．コストレポートの作成途中でしたが，みんなで効率的に作業することによって，素早く作業ができました．各部品に異常がないか注意深く確認し，次の走行に備え，部品の改良も行いました．

2. 活動経過

車両走行テスト

大井松田カートランド様のご好意により，毎週木曜日の早朝にコースをお貸ししていただいています．パイロンを設置することで，直線，コーナー，スラロームからなるコースでの走行テストを行いました．油圧対策やバージョンアップパーツの耐久試験，ドライバー練習を目的に走行いたしました．耐久走行をすることで，パーツが壊れるというトラブルが次々と 起こりました．しかし，怪我もなく，毎週改良し，テストを行うことで車両の完成度は日に日に上がってきています．

また，ドライバーからの情報をテスト後にまとめることにより，車両の次なる改善点もチームで共有しています．

詳しい内容につきましては，7月の月間報告書内とさせていただきますが，このテストにより7月のエコパ走行会では，トラブルもなく，無事にテストがました．このようにテスト走行を多く行うことで，車両の熟成を日本大会に向けて行って生きたいと思います．

3. 活動状況（シャシ部門）

フレームの錆落とし

フレームの溶接終了後，何の処理もしていなかったので錆が発生してしまいました．
雨天時の走行や錆の増殖の防止を考え，ヤスリをつかって一度フレームを綺麗に磨き，錆防止のため表面にサーフェーサーを散布しました．
表面を磨く作業は手の届きにくいところなどがあり，磨くのはとても大変でした．

ブラケット改良

大井松田の走行の際に壊れてしまったブラケットの改良を行いました．
改良前のものは角パイプを加工したものでしたが，今回はアルミの削り出しで製作したので前回に比べとても頑丈なものを作ることができました．
走行を重ねる度に疲労がたまっていくパーツなどもあるので，走行前にはしっかりと確認し，走行中に壊れて貴重な走行機会を無駄にしないようにしていきたいです．

4. 活動状況(エンジン部門)

吸排気の製作

日本大会仕様の吸排気パーツの製作を引き続き行っています．静的審査の提出物があり，作業を予定通り進めることがませんでした．この遅れを挽回するべく，現在急ピッチで作業を行っております．

8月の富士スピードウェイの走行会には，新型の吸排気パーツを装着し，テストを行いたいと考えています．

排気騒音テスト

排気騒音をレギュレーションで定められた110dB以下にするべく，サイレンサーの改良と騒音測定を行いました．バッフル等で改良を繰り返し行いましたが，完全に数値を下回ることはできませんでした．排気管の改良も残されているため，随時テストをし，改良していきたいと思います．

第一エンジンO/H

大会使用エンジンの最後のオーバーホールを行っています．今回もスズキ株式会社様より部品の支援をしていただきました．また，エンジン内部の洗浄，消耗部品の交換やフリクションロスの低減のため，ポートの研磨も行う予定です．組み上げ手順等に間違いがないように，入念な確認を繰り返し行いながら作業してまいりたいと思います．

5. 今後の予定（７月）

2010年 7月 活動予定内容

上旬
- エコパ走行会
- テスト走行
- アップデート部品製作

中旬
- テスト走行
- アップデート部品製作
- 大会プレゼン製作開始
- アンダーパネル製作

下旬
- テスト走行
- 大会仕様部品製作期限
- 大会用パネル製作開始

6. スポンサー様一覧

スズキ株式会社 様

株式会社エフ.ピー.ジャパン 様

株式会社井上ボーリング 様

トムス株式会社 様

車輌機器株式会社 様

フェデラルモーグル株式会社 様

トタル・ルブリカンツ・ジャパン
株式会社 様

有限会社及川製作所 様

株式会社日本ヴューテック 様

エヌ・イー有限会社 様

日本グッドイヤー株式会社 様

有限会社鈴村製作所 様

株式会社コイワイ 様

ジュニアモーターパーク
クイック羽生 様

株式会社シーディー
アダプコジャパン 様

NTN株式会社 様

株式会社レント 様

AVO/MoTeC Japan 様

株式会社ガレージ茶畑 様

ANSYSサイバーネットシステム
株式会社 様

（順不同）

6. スポンサー様一覧

日信工業株式会社 様

株式会社エフ･シー･シー 様

株式会社
ミスミグループ本社 様

やまと工業株式会社 様

ミネベア株式会社 様

グッドリッヂジャパン 様

株式会社コタキ　様

東海バネ工業株式会社　様

KUWAHARA BIKEWORKS JAPAN 様

スーパーオートバックス
湘南平塚店　様

住鉱潤滑株式会社 様

株式会社ダイナテック　様

ナップス　伊勢原店　様

ハリケーン大阪単車工業株式会社　様

有限会社ブライトロジック　様

中山ライニング工業株式会社

株式会社ワイピーシステム　様

本田技研工業株式会社　様

日産自動車株式会社　様

（順不同）

7. 活動場所

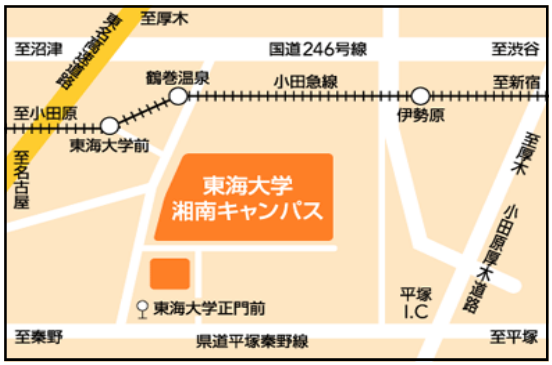
●活動場所

東海大学 湘南キャンパス ものつくり館

●交通

- 小田急線(新宿より急行約70分, 小田原より約25分)東海大学前駅下車徒歩約25分
- JR東海道線平塚駅下車東海大学行または秦野駅行バス(約30分)東海大学正門前下車徒歩約5分

チャレンジセンター ものつくり館



ものつくり館

連絡先

Tokai Formula Club

プロジェクトリーダー 近藤 順

8aed3115@mail.tokai-u.jp

Webサイト

http://formula.shn.u-tokai.ac.jp/